カトリック山手教会月報

やまて

編集・発行　カトリック山手教会 広報委員会　〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎（045）641－0735　http://catholicyamate.org/
第６１６号　２０２１年6月13日

アウグスチヌス 水上健次神学生 助祭叙階式

４月25日（日）復活節第４主日（世界召命祈願の日）に山手教会聖堂でささげられた11時30分ミサのなかで、ラファエル梅村昌弘司教主司式による水上健次神学生の助祭叙階式が執り行われました。梅村司教は叙階式にあたり「助祭の務めは奉仕です。奉仕者として最小の労力で最大の利潤という経済の原則ではなくて、ひとかけらの利潤や利益が得られなくても最大の労力を惜しまないという姿勢で奉仕に務めていただきたい」と話されました。そして、梅村司教による按手の後、出身教会の山手教会主任司祭・鈴木真師により水上神学生にストラ（首から掛ける帯）とダルマチカ（祭服）が着せられ、最後に福音書の授与が行われて叙階式が終了しました。

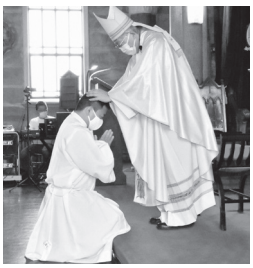
また、東京カトリック神学院院長・松浦信行師の名代として、同学院の養成者（学務担当）浅井太郎師が祝辞を述べられました。助祭になられた水上神学生は「わたしが洗礼を受けたのは1995年です。まだ主に出会っていない人たちにキリストを伝えていきたい」と挨拶され、聖堂は久しぶりの山手教会出身の聖職者誕生に大きな喜びで満たされました。

水上健次新助祭、おめでとうございます。

新助祭より次の挨拶文を頂きました。

「助祭叙階のお恵みを頂きました。司祭召命への道を示してくださった天国の飯野雅彦神父さまに感謝。いつも心配してくれる母、亡くなる前に召命の道を応援してくれた父、そして理解してくれる弟と妹に感謝。この日のために準備してくださった山手教会の皆さまに感謝。キリストによって出会い、つながっている全ての人に感謝。神に感謝。」

自己奉献の姿勢をとる



按手

ストラをかけていただく

ダルマチカを着せていただく